

富山 梅沢町寺院めぐり

ぶらり2時間コース

JR 富山駅

富山寺
(富山の由来)

光厳寺
(前田利次の菩提寺)

円隆寺
(さんざい踊り)

来迎寺
(立山権現)

妙国寺
(富山売薬)

海岸寺

大法寺
(厄除の梵鐘)

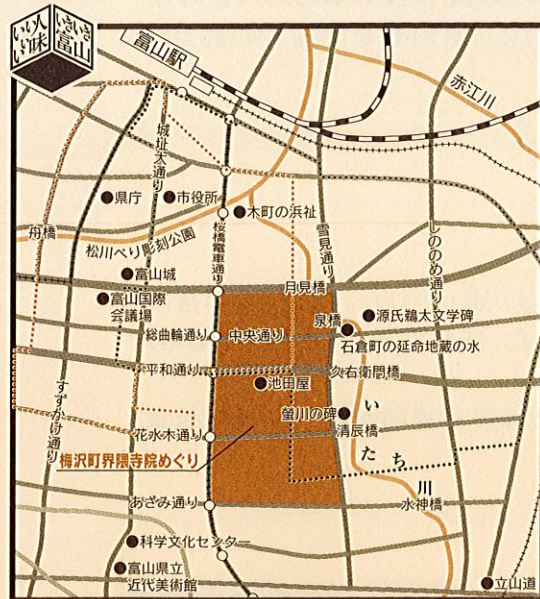
広貫堂
(売薬資料館)

本陽寺
(古代のハス)

小西臨池居
(売薬行商人
養成機関
売薬発展に貢献
した寺小屋)

まちの駅
(島川あめ店・
池田屋安兵衛商店)

JR 富山駅



うめざわちよう ごうじれい 梅沢町と合寺令

寛永16年(1639)加賀3代藩主、前田利常の2男前田利次が富山に分藩され、富山藩祖として富山城を修復し入城、以後13代にわたり前田氏が城下町を築く。
新川平野に広がる南側の防御のため、富山城下南東の端に寺院を集め、寺町をつくった。
明治3年(1870)明治政府の出した神仏分離令のもと、富山藩は他に先がけて、合寺令を出して藩内205の寺院を7宗7寺に統合した。その7寺は、来迎寺(浄土宗)、円隆寺(天台宗)、真興寺(真言宗)、大法寺(日蓮宗)、光厳寺(禅宗)、浄禅寺(時宗)、持専寺(浄土真宗)である。このとき合寺令処理事務所となった持専寺の山号、梅沢山の名を取り、梅沢町に変更されたと言われている。

凡 例

地蔵尊・観音像
神社
バス停
トイレ
案内板
石碑・銅像
駐車場

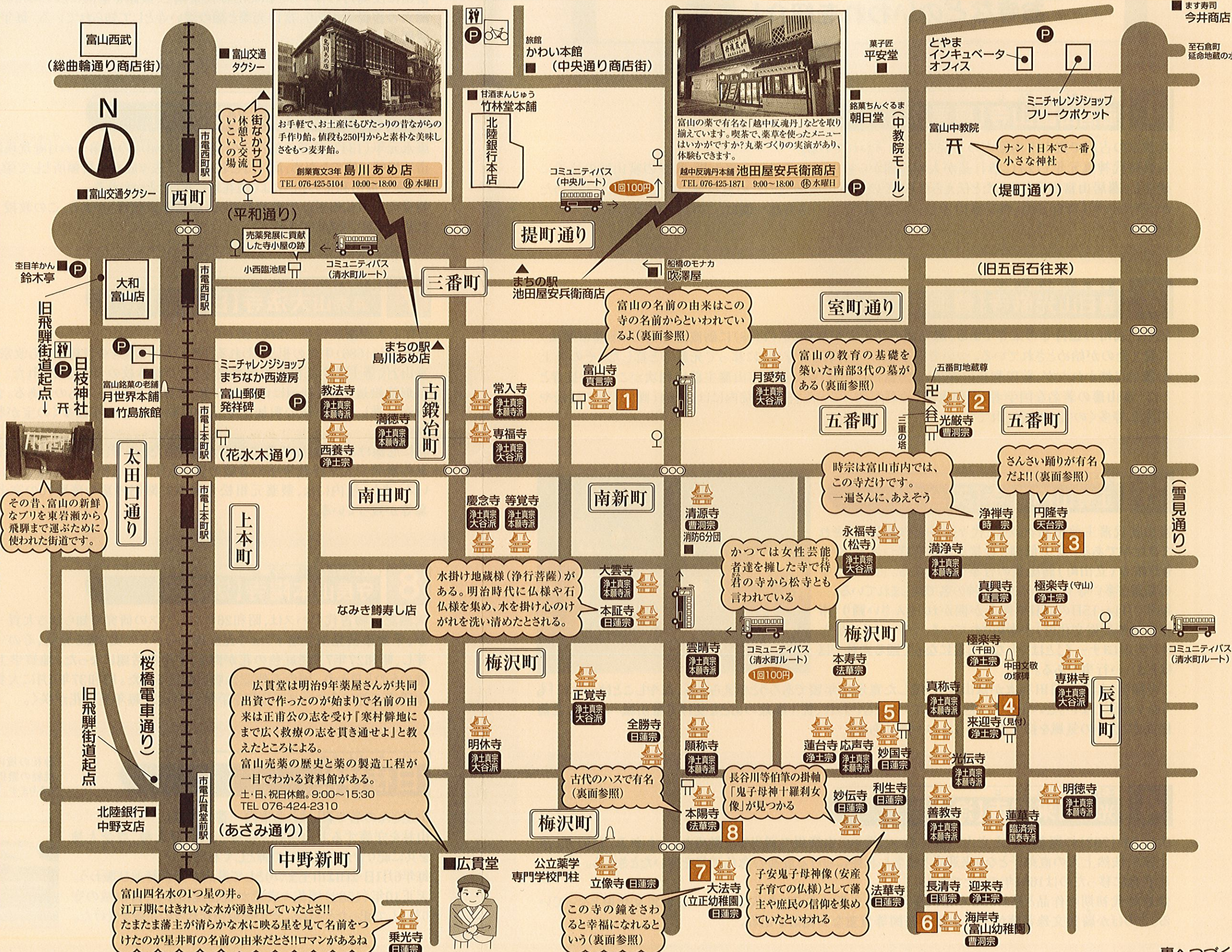
レンタル自転車 (無料)
市内4カ所にレンタルサイクルステーションがあります。
午前9:00～午後6:00までご利用できます。
(12～2月は休みます)
お問い合わせ
(株)まちづくりとやま
☎076-495-5900

観光ガイド

●観光ガイドを希望される方●

団体グループ・個人旅行の観光案内などに富山市観光ボランティアガイド(紙ふうせん)をご利用下さい。
お申し込みは富山市観光協会へどうぞ

発行/富山市観光協会
監修/富山市観光ボランティアガイド
紙ふうせんの会
お問い合わせ/富山市観光協会 ☎076-439-0800
富山市観光振興課 ☎076-443-2072



梅沢町界隈の富山藩主・富山売薬ゆかりのお寺などのいわれを紹介します。

1 藤居山富山寺【真言宗】

真言宗の古刹で富山市内最古の寺院であると言われている。
奈良時代神亀元年(724)、僧行基が大和の国から越中国藤井村に來錫の折、現在の富山城の位置に建立し、藤居山富山寺と称したと伝えられる。その後富山城築城のため現在地に移され普泉寺と改めたが、明治43年(1910)4月、再び富山寺とした。古来、富山の地名は一説に、この寺に起因すると言われている。

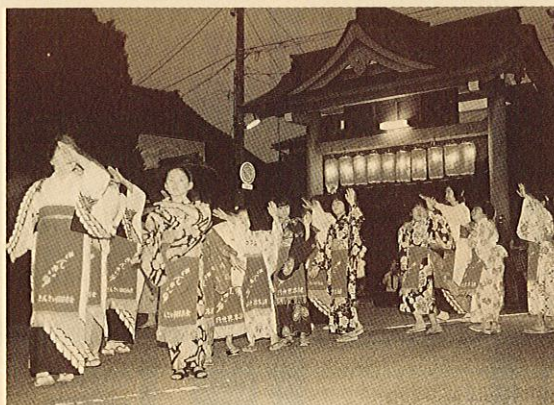
2 春日山光嚴寺【曹洞宗】

能登門前町の総持寺の末寺である。越前国の僧天叟が長禄2年(1458)に砺波郡増山村(砺波市増山)に建てたのが始めとされている。ついで射水郡守山(高岡市守山)に移って光嚴寺と称した。その後上杉謙信に焼かれたが、前田利長の保護により富山に再建され、初代富山藩主前田利次がここを菩提寺とした。富山藩の著名な国学者、南部家3代の墓が残っている。また寺院内には、岸駒(画工)筆の絵伝や円空仏等多くの宝が収蔵されている。

3 正覚山円隆寺【天台宗】

富山初代藩主前田利次以来、代々前田家の祈願所とされてきた寺である。立山信仰と密接な関係を持つ寺で、今でも芦峯寺(立山町)閻魔堂の行事を執行する。古来婦女子の参詣が多い寺で、かわうそ大明神の名で親しまれている。毎年7月14・15日の両日祇園会が開かれ、さんさい踊り(市指定無形民俗文化財)が奉納されている。「サーイサンサイ、ヨンサノヨナナイ」とはやしながら輪になって踊る素朴ではほえましい行事である。

この踊りの起源は前田利次が富山城入りをした寛永16年頃であろうと伝えられる。はやしことばの中に「もう佐々の世でない」という意味が込められているともいわれ、佐々成政のあとを受けて富山城へ入城した前田氏が、佐々の気風を排すため唄ったという説もある。



4 光明山来迎寺【浄土宗】

大宝2年(702)の開基で、もと立山山麗にあって代々立山権現の別当職を勤めたといわれる。1197年、浄土宗祖法然上人の直弟子となり来迎寺と改名し北陸における最初の念仏道場を開いたとされる。現在地に移ったのは1661年のことである。
鎌倉時代初期の作品と思われる木造阿弥陀如来立像はすぐれた仏像彫刻で県指定文化財となっている。このほか騎獅文殊菩薩像や立山曼荼羅図等貴重な文化財がある。

5 日光山妙国寺【日蓮宗】

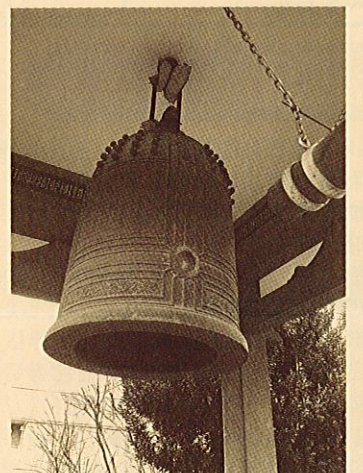
富山に反魂丹の作り方を伝えた万代常閑と、販路を全国に広めるための智慧を藩主に貸した八重崎屋源六の菩提寺であり、富山売薬と縁の深い寺として知られている。毎年6月5日県内薬業関係者の協力で法要が営まれている。

6 補陀山海岸寺【曹洞宗】

康永元年(1342)能登の総持寺の開山、螢山紹瑾の孫弟子の月庵瑠瑛により建立された。海辺である富山市浜黒崎に建てたため、海岸寺と名付けた。佐々成政の祈願所として栄えた。成政没後、寛永15年(1638)3代藩主前田利常の招きにより現在地に移ったといわれる。
紹瑾直筆の仏祖正伝菩薩戒教授文(国指定文化財)がある。この教授文は道元禅師が弟子に禅の極意を説いて記したものである。

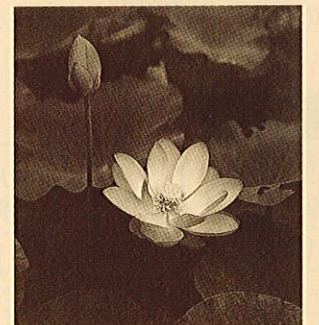
7 海秀山大法寺【日蓮宗】

日行上人が慶長11年(1606)創立した。
貞享3年(1686)中興の祖といわれる日徳上人の教えを受け禅宗から改宗した。富山2代藩主前田正甫の永代菩提寺として梅鉢紋の使用を許された。
宝形総檜造りの菅神祠は前田家の祖、菅原道真を祀ったものである。また正甫が寄進した赤梅檀の釈迦牟尼仏や厄除けの梵鐘等数多くの宝が収蔵されている。
特に厄除けの梵鐘は6代藩主利興が寄進したもので、明治の合寺令による仏具の徴発や太平洋戦争中の金属の供出も免れ、「厄除けの梵鐘」と呼ばれている。また、境内には、製薬元祖松井屋源右衛門の墓や藩歴代の家老職の墓等が残っている。



8 守長山本陽寺【法華宗】

天然記念物古代のハスは、昭和26年3月、ハスの研究で知られる大賀一郎博士が、千葉市検見川で地下7mの泥炭層からハスの実3個を発見、その一粒が発芽し、昭和27年7月淡紅色の花が開き、世界の話題になった。地質学上3000年前のものと思われ、国の天然記念物に指定された。昭和37年4月に大賀博士が本陽寺の池にそのハスの分根を手植えされた。毎年夏に花が咲く。



日枝神社

山王さんの名で親しまれる市内一番の大社。
山林を守護する大山咋神を祭神とし、天照大神、豊受大神と共に祀り昔から縁結びの神として有名。
毎年6月1日・2日は山王まつりとして露店が数百軒並び賑わう。
天正10年(1582)頃佐々成政が現在地に移し、富山城の守り神として祀ったとされる。その後前田氏代々の崇敬を受けた。

神社の境内には弁慶が割って義経の腰掛にしたという弁慶石もあります。



山王まつりには20万人を超える参拝者で賑わいます。